

実話をもとに描く、 やさしさに満ちた 希望と再生の物語

あなたの
大切な人が認知症に
なったら？

Story

妻・真央と二人の娘と暮らす39歳の只野晃一は、充実した日々を送るカーディーラーのトップ営業マン。そんな彼に、顧客の名前を忘れるなどの異変が訪れる。下された診断は、「若年性アルツハイマー型認知症」。驚き、戸惑い、不安に押しつぶされていく晃一は、とうとう退社も決意する。心配のあまり何でもしてあげようとする真央。しかし、ある出会いがきっかけで二人の意識が変わる。「人生を諦めなくていい」と気づいた彼ら夫婦を取り巻く世界が変わっていく…。

“貫地谷しほり×和田正人”で描く、 笑いと涙の夫婦の9年間の軌跡

本作は、39歳で認知症と診断されながらも、働きながら講演活動が続けている丹野智文さんの実話に基づく物語。夫と共に前を向く真央役に、連続テレビ小説「ちりとてちん」のヒロイン役で知られ、ドラマ「大奥」ほか映画・ドラマ・舞台で活躍する貫地谷しほり。夫・晃一役に、映画『THE LEGEND & BUTTERFLY』、『Winny』など話題作への出演が続く和田正人。実力派俳優の二人が、晴れやかな感動を生み出す。

「認知症になったら人生終わり」なんかじゃない

介護の世界を描いて13万人以上の人々に感動を伝え続ける映画「ケアニン」シリーズ制作スタッフによる本作。タイトルには、“小さな灯でも、みんなで灯せば世界はこんなにも明るくなる”という願いが込められた。本人や家族が、認知症とどのように向き合えば笑顔で生きられるのか。認知症になっても安心して暮らせる社会とは？その一つの指標となり得る作品が誕生した。

企画協力：丹野智文さん

1974年、宮城県生まれ。ネットトヨタ仙台に勤務。39歳のときに若年性アルツハイマー型認知症と診断される。診断後は営業職から事務職に異動し、勤務を続けながら、不安を持っているご本人のためのもの忘れ総合相談窓口「おれんじドア」実行委員会代表を務める。自らの経験を語る講演活動にも力を入れている。

「オレンジ・ランプ」とは

認知症のシンボルカラーのオレンジと、みんなで灯せば世界を明るく照らすことのできるランプ。この二つを組み合わせ、認知症になっても暮らしやすい社会づくりの象徴となる願いを込めたタイトルです。

貫地谷しほり 和田正人

伊勢亮則 新井康弘 水木薫 平尾菜々花 安山夢子 井上拓哉 池田朱那 金子さやか 谷田部俊 日向丈 田口智也 鈴木武 全澤美穂

山田雅人 堀田真三 赤間麻里子 赤井英和 / 中尾ミエ

監督：三原光寿 企画・脚本・プロデュース：山田秀幸 脚本：金杉弘子 音楽：宮崎道 主題歌：THE CHARM PARK「セルフノート」 原作：山田秀幸「オレンジ・ランプ」(幻冬舎文庫)

製作：野中雅志 野村弘幸 依田実 今村俊昭 五老剛 プロデューサー：夢野康宏 高瀬博行 アシエイトプロデューサー：小川明日香 藤本慈人 企画協力：丹野智文

撮影：鈴木周一郎 照明：斎藤進 録音：西岡正巳 編集：宮島竜治 美術：津留啓亮 装飾：森浦彩夏 衣装：岩田友裕 チバヤスヒロ メイク：伊藤里香 キャスティング：田山太徳 助監督：金子功 制作担当：遠藤祐輝 Official Partner：太福生命保険

特別協賛：湘南アイパーク/ドラッグコーティング/ネットトヨタ仙台/日本介護クラフトユニオン/清山金医療福祉グループ/カナミックネットワーク/在宅支援総合ケアサービス 協賛：ファーマライフ おれんじ薬局/公益社団法人 神奈川県医師会/小田原福祉会 湘生園

協力：日本認知症本人ワークキンググループ/認知症のひとと家族の会/日本在宅ケアアライアンス/認知症サポーター・キャパビン/日本認知症ケア学会/日本老年看護学会/日本老年精神医学会/全国認知症地域支援推進連絡会/地域共生を支える医療・介護・市民全国ネットワーク

推薦：厚生労働省 製作：「オレンジ・ランプ」製作委員会(ワンダーラボトリー/JR西日本コミュニケーションズ/アイビー・アイ/ギャガ/朝日放送テレビ/朝日新聞社) 制作：JR西日本コミュニケーションズ 制作協力：TKSplus AFF2 配給：ギャガ GAGA★

オレンジ・ランプ/A LIFE WITH MY ALZHEIMER'S HUSBAND/日本/日本語/2023/ビスタ/5.1ch/100分 ©2022「オレンジ・ランプ」製作委員会

www.orange-lamp.com/ [@eiga_orangelamp](https://twitter.com/eiga_orangelamp) www.facebook.com/eiga_orangelamp/

「オレンジ・ランプ」上映会 日時：2026年9月19日(土)13:00～14:40 (開場12:30～)

会場：特別養護老人ホーム玄海園地域交流スペース 入場無料

問合せ先：玄海町福祉・介護課(TEL:52-2220),特別養護老人ホーム玄海園(TEL:51-3600)